

## 【令和7年度上半期（4～9月）の相談の傾向 東京都消費生活総合センター受付分（速報値）】

令和7年度上半期（4～9月）に東京都消費生活総合センターに寄せられた相談は**14,798件**で、前年同期（13,831件）と比べて107.0%（967件増）となった。

契約当事者の年代別では70歳以上が2,975件と最も多く、増加率では30歳代が前年同期比119.0%（262件増）、20歳代が前年同期比117.4%（259件増）と高くなっている。

商品・役務別の増加率の上位でみると、インターネット通販で注文とは異なる偽物・粗悪品が届いたり、商品が届かない等の相談が多い第9位の「紳士・婦人洋服」で160.4%（131件増）と大幅に増加している。賃貸アパート・マンションの契約や修理代等に関する相談が多い第1位の「レンタル・リース・貸借」も129.1%（310件増）、医療脱毛や歯科矯正等の美容医療に係る相談が多い第4位の「医療」も127.8%（108件増）と増加している。

店舗購入以外の特殊販売の件数は**7,115件**で、前年同期（6,789件）と比べて104.8%（326件増）となった。特殊販売の相談が相談全体に占める割合は48.1%で、半数近くを占めている。購入形態別にみると、「訪問販売」「通信販売」「電話勧誘販売」「ネガティブオプション」の件数が増加している。

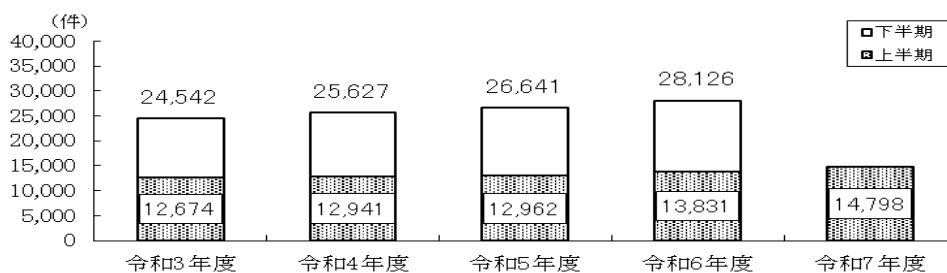
高齢者の相談件数は**4,725件**で、前年同期（4,521件）と比べて104.5%（204件増）となった。商品・役務別では、通信会社を装って個人情報を聞き出されそうになった等の相談が多い「電報・固定電話」が407.3%（169件増）と激増した。

若者の相談件数は**2,020件**で、前年同期（1,747件）と比べて115.6%（273件増）と増加した。商品・役務別では、賃貸アパート・マンション退去時の原状回復費用等の相談が多い「レンタル・リース・貸借」が154.1%（106件増）と大幅に増加し、脱毛エステの一部の事業者で破産手続が開始されことにより、解約・返金トラブルの相談が多く寄せられた「理美容」が145.6%（41件増）と大きく増加した。

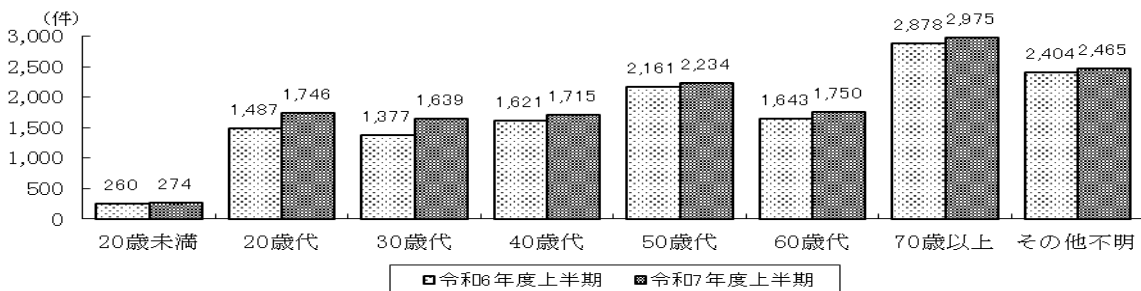
架空・不当請求の相談件数は**609件**で、前年同期（664件）と比べて91.7%（55件減）であった。

多重債務の相談件数は**234件**で、前年同期（218件）と比べて107.3%（16件増）となった。

### 1 相談件数の推移



### 2 契約当事者の年代別件数



### 3 商品・役務別上位 10 位と主な相談内容

(単位:件)

順位	商品・役務分類	令和7年度 上半期	令和6年度 上半期	対前年 同期比	主な相談内容
1	レンタル・リース・貸借	1,374	1,064	129.1%	賃貸アパート・マンション退去時の原状回復費用についてのトラブル等
2	商品一般	1,099	1,105	99.5%	個人情報を聞く不審な電話・メールやクレジットカードの不正利用等
3	役務その他	1,054	981	107.4%	鍵の修理・交換や海外渡航等申請代行等に係るトラブル等
4	医療	497	389	127.8%	医療脱毛や歯科矯正等の美容医療に係るトラブル等
5	教室・講座	382	352	108.5%	パーソナルジムやヨガ教室等に係るトラブル等
6	健康食品	380	527	72.1%	お試しのつもりが、実は複数回購入しなければならない「定期購入」だったというダイエットサプリ等
7	化粧品	379	563	67.3%	お試しのつもりが、実は複数回購入しなければならない「定期購入」だったという化粧クリーム・乳液等の各種化粧品等
8	移動通信サービス	352	343	102.6%	スマホ等の通信料金に関するトラブルや架空請求と思われる料金未納の電話等
9	紳士・婦人洋服	348	217	160.4%	インターネット通販で注文とは違う偽物・粗悪品が届いたり、商品が届かないトラブル等
10	他の教養・娯楽	336	360	93.3%	インターネットゲーム、出会い系サイトに係るトラブル等

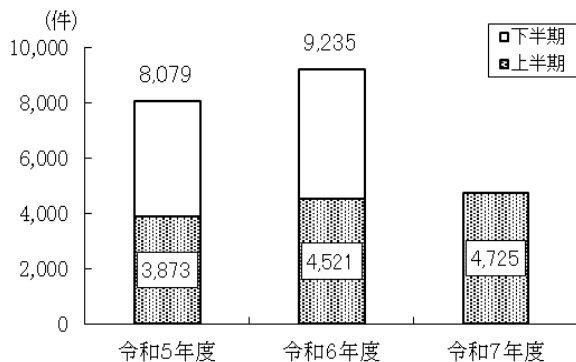
### 4 特殊販売の購入形態別相談件数

(単位:件)

	全相談件数	訪問販売	通信販売	マルチ・ マルチまがい	電話勧誘 販売	ネガティブ オプション	訪問購入	その他 無店舗	特殊販売 計	特殊販売の 全体に占める割合
7年度上半期	14,798	1,119	5,075	87	675	19	70	70	7,115	48.1%
6年度上半期	13,831	1,108	4,802	89	591	17	93	89	6,789	49.1%
対前年同期比	107.0%	101.0%	105.7%	97.8%	114.2%	111.8%	75.3%	78.7%	104.8%	—

### 5 高齢者（60歳以上）相談

#### (1) 相談件数推移



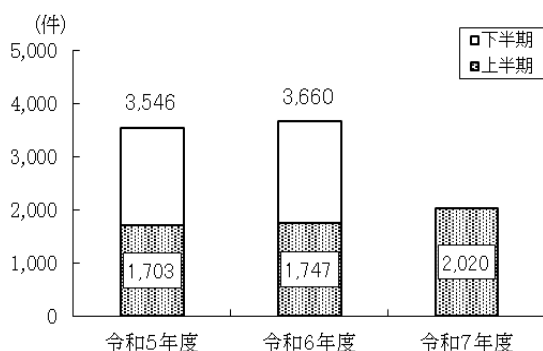
#### (2) 商品・役務別上位 5 位

(単位:件)

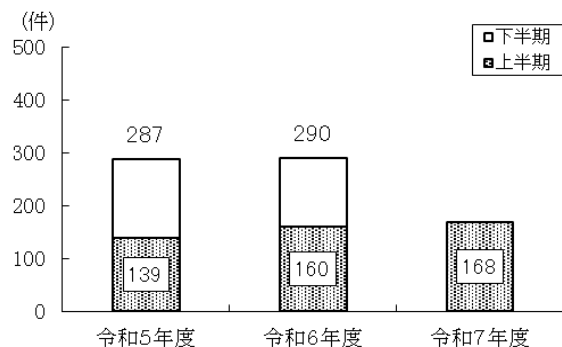
順位	商品・役務分類	7年度 上半期	6年度 上半期	対前年 同期比
1	商品一般	402	372	108.1%
2	役務その他	318	302	105.3%
3	電報・固定電話	224	55	407.3%
4	健康食品	216	284	76.1%
5	化粧品	192	314	61.1%

### 6 若者（29歳以下）相談

#### (1) 相談件数推移



#### (2) 18歳～19歳の相談件数推移

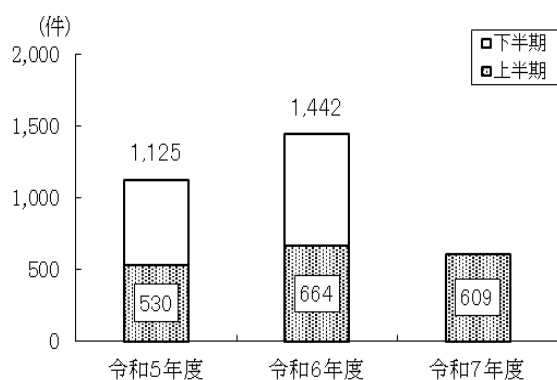


### (3) 商品・役務別上位 5 位

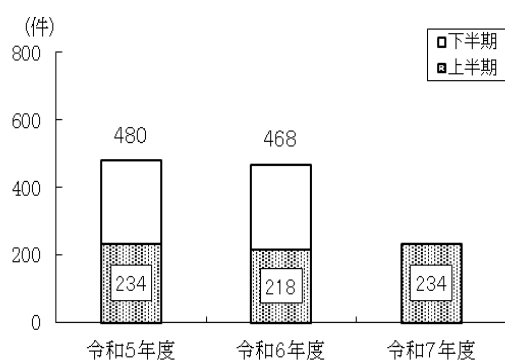
(単位:件)

順位	商品・役務分類	7年度 上半期	6年度 上半期	対前年 同期比
1	レンタル・リース・貸借	302	196	154.1%
2	医療	147	108	136.1%
3	役務その他	142	138	102.9%
4	理美容	131	90	145.6%
5	教室・講座	118	112	105.4%

### 7 架空・不当請求の相談件数推移



### 8 多重債務の相談件数推移

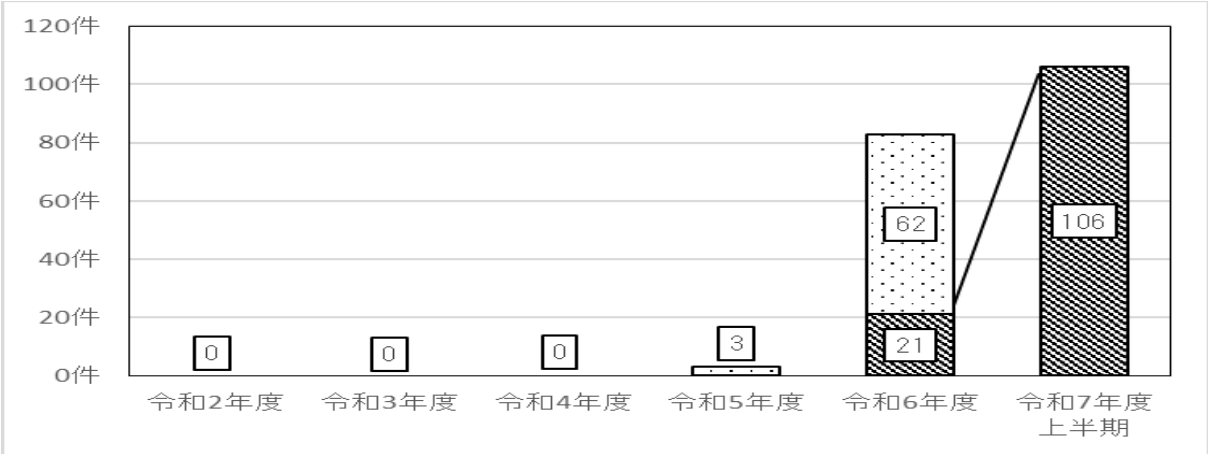


9 不審な電気点検や点検をきっかけとした「ブレーカー（分電盤）交換」に関する相談

東京都消費生活総合センターには不審な電気点検や点検をきっかけとした「ブレーカー（分電盤）交換」に関する相談が令和6年度から急増し、令和7年度上半期(4～9月)は106件で前年同期比504.8%（85件増）と激増した。

契約当事者の年代別では80歳代が39件、70歳代が25件と多く、60歳以上で前年同期比300%以上と激増している。

【不審な電気点検や点検をきっかけとした「ブレーカー（分電盤）交換」に関する相談件数】  
(単位：件)



【相談内容別件数】（上位5位）

順位	件数の多い相談内容	相談件数
1	点検商法	106
2	家庭訪販	82
3	電話勧誘	49
4	信用性	37
5	クーリングオフ一般※	30

(複数選択項目)  
※「クーリングオフ一般」は、クーリングオフ回避以外のクーリングオフに関する相談

【契約当事者の年代別件数と前年同期比】

	7年度 上半期 相談件数	6年度 上半期 相談件数	前年 同期比
29歳以下	0	0	—
30歳代	0	0	—
40歳代	1	0	—
50歳代	4	4	100.0%
60歳代	14	2	700.0%
70歳代	25	8	312.5%
80歳代	39	2	1950.0%
90歳以上	12	2	600.0%
不明等	11	3	366.7%
計	106	21	504.8%

【主な相談内容】

- ① 自宅に「ブレーカーの無料点検に行く。」と電話があり、検査の日程を決めたが不安になり、インターネットで調べたら、契約している事業者が点検訪問する際は事前案内を送付することが分かった。訪問を断りたいが、どうすればよいか。
- ② 「漏電の検査に伺う。」と連絡があり、電力会社の4年に1回の法定点検だと思い受け入れた。来訪した検査員から、「分電盤が古く、このまま使い続けると漏電事故で近所に迷惑をかける。」と不安をあおられ、10万円の工事を契約した。後で、名刺の会社を家族が調べたところ、不審な業者とわかったのでクーリング・オフしたい。